

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.86 平成27年9月号

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6F
tel:092-733-5707 fax:092-733-5680 email: library@urc.or.jp

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

目次

◆URCニュース

- ①「さくらサイエンスプラン」実施報告・・・1
- ②平成27年度 第2回都市セミナー開催予告・・・1
- ③留学生の就職応援・CIP サロンスタート・・・2
- ④第22回 日韓海峡圏研究機関協議会 研究報告会開催

予告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

- ◆URC資料室ニュース 政令指定都市の総合計画等収集
報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ◆FDCニュース 宗像市と連携協定を締結・・・・・・・・3
- ◆マスコミでみるURCの今・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ◆「資料速報 平成27年8月受入分」・・・・・・・・別添

◆URCニュース

①「さくらサイエンスプラン」でインドネシアから研究者・学生を受け入れました。



主任研究員 唐 寅

る海外からの優秀な人材の育成に貢献する」とともに、福岡における介護人材等の国際的教育拠点づくりに寄与することを目指しております。

このような趣旨に基づき、8

月19日から28日まで、インドネシアから高校生、大学生など14名を受け入れ、福岡市における健康、福祉介護の取組みの紹介や「介護」関連技術の研究開発を行っている大学の研究室及び企業への視察・見学を行いました。

受入にあたり、準備も大変でしたが、招聘したインドネシアの大学生から「とても充実した研修だった。」との感想をいただきました。

写真出典：URC撮影 写真説明：上：副市長への表敬訪問、下：左から 小川特別研究員による講義、中村学園大学食堂（一汁三菜体験）、九州大学平井研究室、九州大学山本研究室

当研究所は、都市関連分野の研究を行うとともに、アジアとの交流ネットワーク事業を推進しております。

このたび、当研究所が独立行政法人科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」（「さくらサイエンスプラン」）に応募し、インドネシアの大学生を福岡に招へいし、日本における最先端の高齢者対応システム・技術（社会システム、ICT利活用、ロボット技術など）に関するスタディツアーを実施しました。

その目的は、「さくらサイエンスプラン」事業の目指す「アジアの青少年の日本の最先端の科学技術への関心を高め、もって日本の大学・研究機関や企業が必要とす



②平成27年度 第2回都市セミナー「超高齢社会 どう描く福岡のシナリオ」を開催します。



主任研究員 白浜康二

超高齢社会が間近に迫る福岡市。男女とも80歳を超えて延び続ける平均寿命を前に、人生をどう設計し、どう生きるか。そして、私たちの安全安心な暮らしを支える社会の仕組みを、どう持続可能なものにしていくのか、

今まさに問われています。老いの期間が長くなる中、納得のいく老後を過ごすには？ 長生きして笑顔で本当に良かったと思えるような社会とは？ 識者による講演や鼎談を通して、これらを考える契機としていただけるよう、本年度第2回 URC 都市セミナーを、10月1日木曜日 10:00~12:30、アクロス福岡 4階 国際会議場にて開催します。

内容や申込み方法等の詳細は URC ホームページ、チラシ等をご覧ください。お申込みは9月25日金曜日当研究所必着です。

関心をお持ちの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

写真出典：『2030年代をみすえた機能統合型コミュニティ形成技術』研究プロジェクト

③留学生の就職応援・CIPサロンがスタートします！

研究主査 柳 基憲

平成27年度個別研究「ICT（情報通信技術）を活用したグローバル人材の支援の可能性と諸効果」の一環として、「留学生の就職応援・CIPサロン～留学生・元留学生・企業の3者ワークショップ～」がスタートします。CIPとは、「クリエイティブインターチェンジプラットフォーム（Creative Interchange Platform）」の略語で、外国人留学生の就職から定着までの段階における支援を目的に、平成26年10月に設立された任意団体です。「多言語による交流や就職の情報が少ない」「就職活動として企業の役員との交流会が少ない」「就職勉強会に参加したいが研究とアルバイトで時間がない」「留学生の立場を理解する企業が少ない」等の留学生による要望を理解している福岡で働く元留学生及び現役留学生が構成メンバーとなっています。

日本における従来の留学生への就職支援は、一般企業であり、ローカルビジネスがメインの「日本人化した外国人」採用に重点が置かれていると言えますが、CIPでは、海外展開若しくはインバウンドビジネス向けの地場中小及びベンチャー企業を対象とし、留学生の個性（自己主張の強さ、個人主義的感性等）を最大限に活かした、留学生からの積極的でイノベーション的な自己PRを通じて、双方がマッチングできるような場の提供とその仕組みの構築を目指しています。

留学生の就職応援・CIPサロンは、平成27年11月

から12月の間に3回にわたり、CIPと、福岡県留学生サポートセンター運営協議会、福岡アジアビジネスセンターと共催で行われる予定です。このワークショップを通じて、留学生

留学生の就職応援・CIPサロン
～留学生・元留学生・企業の3者ワークショップ～

▼スケジュール	日時	内容
第1回	11月 7日(土) 第1部: 17:00~18:00 第2部: 18:00~19:00	★第1部: 就活・企業に関する勉強会 (元留学生の経験に備えて留学生が対象となります。)
第2回	11月 21日(土) 第1部: 17:00~18:00 第2部: 18:00~19:00	福岡で働く元留学生による個別相談 応募している元留学生による就職等の相談
第3回	12月 5日(土) 第1部: 17:00~18:00 第2部: 18:00~19:00	★第2部: 企業経営者との交流会 留学生の自己紹介(自己PR活動の上場予定) (留学生・元留学生・企業関係者がグループを作り、1部で対話・質疑応答・意見交換が目的の交流会を深めます。)

会場: 福岡アジアビジネスセンター(福岡ABC)
住所: 福岡市中央区天神1-11-17 福岡ビル4F
(福岡市営地下鉄「天神」駅より徒歩約3分)
参加料: 無料

には自己PR力の向上に繋がり、地場中小・ベンチャー企業関係者には必要な情報が得られるというメリットが生まれると期待しています。詳細はチラシをご参照ください。

皆様のたくさんのご応募をお待ちしております。

④第22回 日韓海峽圏研究機関協議会 研究報告会が開催されます。

「日韓海峽圏研究機関協議会」は、北部九州と韓国南部の11のシンクタンクで構成されている組織です。1994年の発足以来、海峽圏地域の交流、経済社会活性化など、さまざまな諸課題について共同研究や情報交流を行っており、1年に1回日韓交互に実務者会議、総会、研究報告



会を事務局持ち回りで行っています。

第22回目の研究報告会となる今年度は、日本で公益財団法人九州経済調査協会さんが事務局を務められ、9月16日水曜日、17日木曜日に開催されます。

17日の研究報告会は一般公開となっており、「少子高齢化への対応策」を共同研究テーマに、「Aging in placeの実現を目指す柏プロジェクトの取組み～千葉県柏市における長寿社会のまちづくりから～」と題した木村清一氏(東京大学高齢社会総合研究機構 学術支援専門職員)による基調講演を皮切りに、韓国と日本からそれぞれ3名の研究者が報告いたします。

当研究所からは、小川全夫特別研究員が「国際介護人材の養成の調和化」を、当研究所OBで現在公益財団法人アジア成長研究所の上級研究員田村一軌氏が

「九州地域における人口減少対策：別府市を例として」を報告する予定です。

お申し込み、お問い合わせは、公益財団法人九州経済調査協会 担当：大谷氏・池田氏

(TEL：092-721-4907、FAX：092-721-4904)ですので、お間違いなく。

チラシは当研究所でも配布しております。

同時に「海峡圏研究 第15号」が発行され、報告の内容が、本でお読みいただくことができます。当資

料室でも即時受入れ、ご利用に供する予定です。

写真出典：URC撮影

(昨年韓国光州市で行われた研究報告会の様子：昨年は、岡田允特別研究員が「福岡城・鴻臚館の復元・整備の経済波及効果と意義」を報告しました。)

(山崎三枝 司書)



写真出典：URC撮影 (山崎三枝 司書)

◆URC資料室ニュース

政令指定都市の総合計画等を収集し、展示しています！

本年5月、平成26年度の総合研究報告書をお送りした際に、総合計画等の改訂版のご恵贈をお願いし、このほど、ほぼ揃えることができました。コーナーを設けて展示しておりますので、多くのご利用をお待ちしています。資料をご提供くださいました皆様へ心から御礼申し上げます。

◆FDCニュース 宗像市と連携協定を結びました！

連携強化によって宗像市の強みを活かした戦略的な地域づくりを促進します。

2015年8月4日火曜日に、福岡地域戦略推進協議会(以下FDC)と宗像市は、相互に連携協力し、宗像市の政策を促進するための協定を締結いたしました。これは、それぞれが持つ資源を有効に活用し、地域政策を推進することにより、宗像市の強みを活かした戦略的な地域づくりを実現することを目的としています。

これまで宗像市とFDCは、観光部会における福岡都市圏でのMICE誘致への取り組みや食部会への参加、経済産業省「平成27年度健康寿命延伸産業創出推進事業(ヘルスケアビジネス創出支援等)」に協力団体としてソーシャル・インパクト・ボンド(※)導入のための実証事業に参加するなどの連携を行ってまいりました。本連携協定により今後は、①市の政策立案及び推進に関すること、②FDC会員をはじめとする民間企業等との官民連携事業の組成、③市の人材育成支援および市とFDC双方の人材交流に関して連携を行ってまいります。

本連携協定調印式では、宗像市久芳昭文副市長より、本連携協定を通じて、民間企業とのマッチングなどの官民連携の推進、広域連携に重点を置いた戦略的な政策立案への期待が語られました。今後も、FDCは官民

連携・広域連携の観点から地域の成長戦略の策定・推進に取り組んでまいります。



※ソーシャル・インパクト・ボンドとは…投資家からの出資を元に民間企業が社会的事業を実施し、社会的効果にもとづいて行政費用の削減額より投資家に利息をつけて支払う仕組み。

*写真出典：FDC撮影

(FDC-HPから引用)

◆マスコミでみる「URC」の今！—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞

(2015/9/1 ふくおか市政だより 6p)

「人生90年時代」へ 第2回 50歳代から始める認知症予防
当研究所第2回都市セミナー「超高齢社会 どう描く福岡のシナリオ」開催予告

(2015/8/28 Cityliving シティリビング No.1229 1~2p)

世界の独身君～YOUは何しに福岡へ？

当研究所OBのクマル・ダルメンドラさんが紹介される。

(2015/8/27 朝日新聞 朝刊 1p)

折々のことば/鷲田清一 145 欲しいのは人だ。必死で探している。
市民研究員 OB 藤浩志さんの十和田現代美術館長としての言葉が紹介される。

(2015/8/27 秋田魁新報 朝刊 18p)

アートぼくぼく・KAMIKOANI プロジェクト (10) めいぐるみ再生ファクトリーをつくる。教室全体、独特の輝き
市民研究員 OB 藤浩志さんが山里の廃校で作品を発表

(2015/8/20 読売新聞 朝刊 28p)

福岡都市圏の開業好調 昨年度 7% 特区効果か 主要都市で 2 年連続最高
当研究所情報戦略室が発表

(2015/8/18 西日本新聞 朝刊 26p)

福岡の偉人たち 足跡たどる講座 福岡市で来月開講
市民研究員 OG 井上光枝さんが講師とガイドを務める講座の開講予告

(2015/8/15 西日本新聞 夕刊 2p)

わたし活性化計画 キャリアは「ボルダリング」ゴールもルートも一人一人違っていい
FDC フェローの西田明紀さんが執筆

(2015/8/15 ふくおか市政だより 6p)

「人生90年時代」へ 第1回～目指せ健康長寿～
当研究所 OB 仲野雅志さんが出前講座についてインタビューに応える。

(2015/8/14 西日本新聞 朝刊 25p)

まちナビ 博多の夏祭りを訪ねて
市民研究員 OG 池田節子さんが事務局長を務める博多を語る会のイベント予告

(2015/8/14 朝日新聞 朝刊 21p)

おもちゃ交換、盛況 渋川の牧場/群馬県
市民研究員 OB 藤浩志さんが立ち上げた「かえっこバザール」開催中 藤さんの作品も展示

(2015/8/10 秋田魁新報 16p)

「アートで新たな交流」上小阿仁村で秋田美大藤教授講演 地域イベント評価
市民研究員 OB 藤浩志さんの講演会開催報告

(2015/8/7 西日本新聞 朝刊 28p)

新設事業所数 現在の倍目標 福岡市総合戦略素案
安浦寛人理事長が座長を務める総合計画審議会開催報告

(2015/8/5 読売新聞 朝刊 34p)

FDC と連携協定 宗像市、新政策展開に期待
FDC が宗像市と政策立案や推進に協力して取り組む連携協定を結ぶ(*印=以下同じ)

(2015/8/5 西日本新聞 朝刊 32p)

宗像市 総合戦略策定へ連携協定 都市圏の産官学民組織と *

(2015/8/5 毎日新聞 地方版 25p)

観光などで連携へ 宗像市と FDC が協定 *

◎雑誌

(2015/8/20 財界九州 2015 年 9 月号 No. 1092)

134p KAIL～夢の途中～
6/27 FDC フェローの西田明紀さんが「ダイバーシティ志向のリーダーシップ」をテーマにセッションを行う。

◎ラジオ

(2015/8/18 19:00～19:52 東京 FM TIME LINE～今日のニュースと考えるヒント)

速水健朗・世界からも注目を集める都市、福岡の戦略とは？
久保隆行上席主任研究員が出演、福岡に吹いている追い風を紐解く。

◎テレビ

(2015/8/20 11:30～11:45 FBS 福岡放送 NNN ストレイトニュース)

さくらサイエンスプラン招へい者が貞刈副市長を表敬訪問 本誌 1 面参照

(2015/8/15 20:54～21:00 TVQ 「ハロー！ふくおか県」及び福岡県「ふくおかインターネットテレビ」)

涼しさを求めて平尾台へ行こう！
当研究所 OB のダルメンドラ・クマルさんが、福岡県の広報番組に出演